

新庁舎建設の現状と今後の進め方について（素案）

平成28年5月19日

千早赤阪村総務課

1

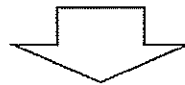
～総論～

1. これまでの主な経過

- 平成 27 年 2 月、新庁舎建設基本計画（案）のパブリックコメントを実施（意見数 20 件）
- H27 年 2 月、千早赤阪村庁舎建設検討委員会から新庁舎基本計画案について村長に答申
⇒新庁舎の位置は、くすのきホール周辺が望ましい
- 同年 3 月、千早赤阪村新庁舎基本計画を策定
- 27 年度予算で基本設計費計上（予算繰り越しを行い、現在、積算中）

2. 課題と今後の進め方

- ① 基本設計を進める過程で、想定しなかった工事が発生するなど、当初、予定していた事業費を大幅に上回る可能性があることが判明。
- ② また、住民代表からなる委員会からの答申やパブコメを踏まえ、議会の議決も得て進めているところであるが、村民の中にも、今なお、様々なご意見がある。



このため、基本設計の作業を一旦、中断し、庁舎建設以外のプロジェクトも含めて、将来の財政収支見通しを精査するとともに、広く村民のご意見もお聞きし、立地場所も含め財政への影響が少ない、より効率的・効果的な事業推進方策を早急に検討する。

3. 当面のスケジュール

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 5月19日 | 庁舎建設特別委員会で現状と今後の進め方等について説明 |
| 5月27日 | 庁舎建設特別委員会で質疑 |
| 5月27日～29日 | 住民説明会 |
| 時期未定 | 終了後、村民の意見等について、庁舎建設特別委員会に報告 |

3

～Ⅱ 新庁舎建設にあたっての課題について 再検討（案）～

1. 新庁舎建設の必要性

【社会情勢等】

- ・ 現庁舎（昭和38年建築：築54年）の老朽化対策が必要、行政機能の分散による住民の利便性の低下
- ・ 平成28年熊本地震、その他集中豪雨等による災害を教訓に防災拠点の早期整備が必要

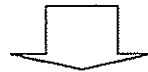
2. 新庁舎建設の進捗状況

現在、基本設計策定（くすのきホール及び郷土資料館を解体し、跡地に新庁舎を建設。いきいきサロンくすのきと保健センターの機能を入れ替え、行政機能を集約。）に向け作業中。

しかし、より具体的な検討を進めていく中で、次の課題等の整理が必要。

【主な課題等】

- ・ 既設擁壁のやり替え（開発基準不適合）
- ・ 排水処理機能の確保（現在調査中であるが、処理不可能の場合、排水処理の整備が必要）
- ・ アクセス道路の検討（既設村道の改修検討や新設村道のルート検討）
- ・ 財政運営への影響
- ・ くすのきホール解体に対する住民理解 など



★庁舎以外の政策（水道事業の広域化（統合）にかかる経費、村道整備、ビジターセンター建設など）を考慮し、将来的な財政運営が可能かどうか、再検討が必要

将来の住民サービスに影響を与えない、コンパクトで創意工夫を凝らした新庁舎を再検討

3. 新庁舎建設の再検討の方向性（案）

※現庁舎執務スペース約1,700㎡

項目		現計画案	代替案①	代替案②		
方	向	性	くすのきホールを改修し、新庁舎に転用	現庁舎の位置で建替え		
配	置	計	<ul style="list-style-type: none"> 図書室等を庁舎に改修 いきいきサロンくすのき及び保健センターはそのまま存置 郷土資料館を解体し、議会、図書室及び会議室棟を新設 	<ul style="list-style-type: none"> くすのきホールはそのまま存置、ただし教育課を新庁舎に移転 いきいきサロンくすのき及び保健センターはそのまま存置 郷土資料館はそのまま存置 現庁舎別館はそのまま存置（倉庫に利活用など） 		
整備の目的	防災拠点の整備	危険区域外	危険区域外	危険区域内（急傾斜地崩壊危険区域内）		
	行政機能の集約	すべての行政機能を集約	⇒ 一部行政機能の集約が困難（総合窓口部署を新設し対応）	一部行政機能の集約が困難（総合窓口部署を新設し対応）		
	住民の利便性の向上	アクセスが悪い	アクセスが悪い	アクセスが良い		
建	設	場	所	くすのきホール	くすのきホール	現庁舎
庁	舎	規	模	約3,500㎡	約1,700㎡	約2,100㎡
経	費	抑	制	<ul style="list-style-type: none"> すべての行政機能をワンフロアにするため床面積増加 既存施設の解体、既設工作物等のやり替え、アクセス道路整備など経費増大 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設を有効活用し、面積を縮小 既存施設の解体経費の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設を有効活用し、面積を縮小 既存施設の解体経費、既設工作物等のやり替え経費、アクセス道路整備費の削減

新庁舎建設再検討比較表＜粗い試算＞

単位:百万円

比較検討事項		現計画案 くすのきホール建替え	代替案① くすのきホール改修	代替案② 現庁舎建替え
事業費	新庁舎基本設計・実施設計委託	72	72	72
	新庁舎本体工事 (RC400千円/m ²)	1,396	361	840
	庁舎建設設計費			
	外構等工事	170	70	120
	既存施設解体	138	23	69
	設計監理委託	50	20	50
	土地買収等	36	0	0
	消費税8%⇒10% (H29.4月~)	36	9	22
	小計	1,898	555	1,173
	庁舎建設附属関連整備費			
	既存擁壁改修工事	64	64	10
	既存施設改修工事	41	527	125
	道路整備工事 (拡幅工事)	600	100	0
	太陽光パネル設備	37	0	37
	雨水貯留槽工事	30	0	30
	飲料水兼用防火水槽工事	50	0	50
	その他整備	10	10	0
	小計	832	701	252
	その他経費			
	備品購入費	30	30	30
	土地買収 (駐車場)	24	24	0
電算構築 (移設) 費	11	11	21	
村防災行政無線等移設費	60	60	80	
その他経費 (引っ越し経費など)	24	20	20	
小計	149	145	151	
合計	約2.9億円	約1.4億円	約1.5億円	

財源	財源内訳	2,879	1,401	1,576
	地方債	1,979	501	646
	国支出金	0	0	30
	府支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	財政調整基金 (基金残高1,300,000千円)	800	800	800
	一般財源	100	100	100